

ほっこり ウィークリー

1号
2020
5.18

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
<http://www.pref.kyoto.jp/plant/>

ご来園の皆様の感染防止のために



京都府立植物園は、5月18日（月曜）より開園します。

しかしながら、未だ予断を許さない厳しい現状もあり、ご来園の皆様に対して感染防止の要請と園内の規制対策を行っていますので、ご理解ご協力いただき「憩いの場」としてご利用ください。

また、各種ガイド案内・講演会・講習会等の植物園主催行事は当面中止させていただきます。

【ご来園前のお願い】

- ◆ご来園前に、検温等を行ってください。
- ◆2週間以内に感染が拡大している国への訪問歴がある方はご入園をお断りします。

【ご入園時のお願い】

- ◆入園門では、サーモグラフィーにて体温確認させていただきます。
- ◆発熱、咳、咽頭痛などの症状がある方はご入園をお断りします。
- ◆ご入園の際は、マスク等の着用をお願いします。

【ご入園後のお願い】

- ◆マスク等の着用、手洗い・手指の消毒をお願いします。
- ◆人の密集が想定される次のエリア等を一部封鎖しています。
 - ・観覧温室
 - ・未来くん広場（遊具、きのこ文庫）
 - ・ばら園（土曜・日曜のみ）
 - ・植物生態園、しゃくやく園、あじさい園など人が密集するエリアの細い通路
 - ・東屋（あずまや）
- ◆人の密集を避けるため、テーブルやイスを撤去しています。
 - ・ばら園、植物園会館等
- ◆再入園は、お断りしています。

スマホdeガイド



QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定！

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成！
‘おすすめ樹木めぐり’ ‘おすすめエリアガイド’ ‘週刊見頃情報’ をスマホで確認し、植物観察！

※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです！
大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP！



今週の「探して！」

2020. 5. 18

1号

⑫ ハナビシソウ

ケシ科。北アメリカ大陸南西部原産。名前の由来は、日本の家紋の一つである「花菱紋(はなびしもん)」に花の形が似ていることによる。花は日光を受けて開くため、曇天や雨天時には閉じており、晴天時に全開となる。

⑪ カルミア

ツツジ科。アメリカ大陸原産。東京都が米国に送った桜の返礼として届けられたハナミズキなどとともに昭和初期に渡来。インディアンがこの木の材からスプーンを作ったことから「スプーンの木」という別名もある。

⑩ シャクヤク

ボタン科。シベリア、中国、モンゴルが原産。日本には中国から薬用植物として渡来。ボタンは木本で冬も枝が残るのに対し、シャクヤクは草本で冬は地上部が枯れ、地中の根や芽で冬越しする点で区別できる。

⑨ アイラトビカズラ

マメ科。中国の長江流域原産。日本では2箇所だけで確認できる非常に貴重な植物。長く熊本県山鹿市の相良地区に1株だけ自生しているとされ、推定樹齢が千年を超えるこの個体は国の特別天然記念物。その後、長崎県で自生確認。

① エキウム ウィルドプレッティ

ムラサキ科。スペイン領カナリア諸島原産。当園では、1980年に種子を導入し、82年に露地栽培での国内初開花に成功した。その希少さと美しさから「宝石の塔」とも呼ばれる。

② ムギセンノウ

ナデシコ科。ヨーロッパ原産。現地では畑地の雑草として扱われており、日本には麦などの農作物に紛れて侵入したと考えられる。別名でムギナデシコや属名のアグロステンマとも呼ばれる。

③ オオバオオヤマレンゲ

モクレン科。朝鮮半島から中国東北部に分布。雄しべが濃い鮮やかな紅色となる。近縁種のオオヤマレンゲは日本にも分布し、雄しべは淡い紅色。奈良県の大峰山に自生し、花がハス(蓮華)に似ていることが和名の由来。

④ キブネダイオウ

タデ科。1993年に京都市左京区の貴船川流域で絶滅したと考えられていたが、再発見された。貴船川流域や岡山県高梁市の磐窟溪に分布。2000年には府絶滅寸前種として認定された。

⑤ バイカモ

キンポウゲ科。直径1.5cmほどのウメに似た花を咲かせ水中に生えることから「梅花藻」と名が付いた。北海道から本州にかけて分布。南限である近畿地方では、現在、滋賀県と兵庫県で自生が確認されているが、京都府では既に絶滅。

⑥ センペルセコイア

スギ科。北アメリカ西部原産。高さ100m以上にもなる世界有数の大高木で当園でも最も高い木である。昭和37年(1962)に約2mのものを植栽し、現在では約40mに成長している。

⑦ ルリカラクサ

ムラサキ科。北アメリカ原産。属名のネモフィラと呼ばれることも多い。ネモフィラはギリシャ語で「森を愛する」の意味で森の茂みの中の明るい日だまりに自生していることに由来する。

⑧ オオバウマノスズクサ

ウマノスズクサ科。関東地方以西の太平洋岸暖地に自生。近縁種のウマノスズクサが無毛であるのに対し、本種は若い茎葉に軟毛がある。名前は中国名に由来し、果実が馬に付ける鈴の形に似ることになむ。

